

令和之御大典を奉祝する
箱根神社御鎮座一二六五年

水墨画「九頭龍」の奉安

昨年の十一月十五日両社参り月次祭に併せて、日本画の巨匠中野嘉之師（多摩美術大学名誉教授）揮毫の水墨画「九頭龍」（二m×二、五m）の奉納奉告祭が斎行され九頭龍神社新宮拝殿の天井と神楽殿天井に奉安された墨画の清祓が執り行われました。

これは敬神の念篤き中野先生が令和之御大典と御鎮座一二六五年を奉祝し、構想より三年の歳月を掛けて制作された作品で、貝の粉を膠で凝固した胡粉を下地に、貴重な古代中国の古墨で描かれ、龍神を囲む高貴な紫はラピスラズリの天然岩絵具が使われています。



水墨画「九頭龍」は、光と波を背景に清らかで厳かな龍神の御姿が描かれており、その眼には人間の瞳の優しさが描写されていて、当神社に参詣し拝観されるたくさんの方の皆様の身心に、安く豊かな力を与え、益々元気に穏やかに進み行く日々をもたらして頂けるものと存じます。

中野嘉之画伯の格別なる御篤志に深謝致し、厚く御礼申し上げます。

京都生まれの先生は、豪快で自由なお人柄が示す力強い作風を備えた作品を描かれ、その実直な感情を水墨表現においても唯一無二の個性で発揮されている日本画壇の重鎮です。



なかのよしゆき
中野嘉之先生
御 紹 介

その作品群は、多摩美術大学日本画名誉教授として今も教導される若い世代に大きな影響を与えています。

略 歴

- 1946年 京都生まれ
- 1984年 “横の会” 結成（～93年）
- 1994年 京都美術文化賞受賞
- 2005年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 2006年 第15回 MOA 岡田茂吉賞大賞受賞
- 2011年 Artist Group “風” 結成
- 2018年 日本画・洋画―巨匠展（日本橋三越）



九頭龍神社新宮の拝殿

尚、中野先生には引続き拝殿天井への奉納絵画「箱根の花鳥図」四十一画の制作を進めて戴いておりますので、皆様と共に楽しみにお待ちしております。

（権瀬宜伊藤政好）



神楽殿の天井画を拝観